

日本証券業協会・全国銀行協会連携 職域資産形成セミナー ～社員のファイナンシャル・ウェルネスの向上に向けて～

2023年8月25日（金）

主催：



日本証券業協会
Japan Securities Dealers Association



一般社団法人
全国銀行協会

後援：金融庁、（一社）日本経済団体連合会、日本取引所グループ（東京証券取引所）

本セミナーの目的（コンセプト）

経済団体の協力を得ながら、来年設立予定の金融経済教育推進機構による企業の雇用者向けセミナーの推進につなげていくイベント。＜雇用主（企業）による雇用者（従業員）の経済的な安定（ファイナンシャル・ウェルネス）を支援する取組みへの理解促進＞

開催要領

開催日時	2023年8月25日（金）13時～15時
開催場所	パレスホテル東京4F「山吹 Yamabuki」
開催方法	参集（リアル開催）※後日アーカイブ動画を配信
対象者	上場企業・非上場企業の経営者・人事担当者・経営企画担当者等
参加者数	146名
主催	日本証券業協会・（一社）全国銀行協会
後援	金融庁、（一社）日本経済団体連合会、日本取引所グループ [°] （東京証券取引所）
周知協力	・（一社）日本経済団体連合会より会員向け約800件へご案内メール配信 ・ 東京証券取引所より上場会社向け3899件へご案内メール配信
実施後の普及	開催後アーカイブ動画の配信にて拡散を図る

プログラム

13 : 00	開演
13 : 03	【オープニングスピーチ】 ビデオメッセージ 岸田 文雄 内閣総理大臣
13 : 10	【第一部 基調講演】 「資産所得倍増プランと資産形成支援に関する取組み」 藤丸 敏 内閣府副大臣
13 : 40	【第二部 Part1】 「ファイナンシャル・ウェルネス向上と企業の取組み～イントロダクション」 (株)野村資本市場研究所 野村 亜紀子 氏
13 : 55	【第二部 Part2】 「ファイナンシャル・ウェルネス向上と企業の取組み～パネルディスカッション」 (株)野村資本市場研究所 野村 亜紀子 氏 キタイ設計(株) 岡谷 優樹 氏 コカ・コーラ ボトラーズジャパン(株) 筧 忠幸 氏 (株)NSFエンゲージメント 廣前 秀樹 氏
14 : 40	【第三部】 「ライフプランに基づく資産形成と職場つみたてNISA」 日証協 金融・証券インストラクター 兼 全銀協 金融インストラクター 高木 典子 氏
15 : 00	終演



ビデオメッセージ



【オープニングスピーチ】 岸田 文雄 内閣総理大臣

＜主な内容＞

- 岸田政権では今年を「資産所得倍増元年」とし、貯蓄から投資へのシフトを大胆かつ抜本的に進めていく
- NISA制度の抜本的な拡充・恒久化などの取組みを通じ、家計の資金が企業への投資に向かい企業価値の向上の恩恵が家計に還元され、家計の資産形成と更なる投資や消費につながるという好循環を実現する
- 今回のテーマであるファイナンシャル・ウェルネスはこの好循環を実現する上で重要な役割を果たすと考えている
- 企業経営者においても、雇用者の資産形成支援に是非とも積極的に取り組んでほしい



資産所得倍増プランと資産形成支援に関する取組み

日本証券業協会・一般社団法人
全国銀行協会

2023年8月25日(金) 内閣府



ご講演資料は、金融庁ホームページに掲載しております。↓ QRコード



【第一部 基調講演】「資産所得倍増プランと資産形成支援に関する取組み」 藤丸 敏 内閣府副大臣

＜主な内容＞

- 家計の資金が企業の成長投資の原資となれば、企業価値が向上し、それにより家計の金融資産所得はさらに拡大するという「成長と資産所得の好循環」が実現する
- 「資産所得倍増プラン」の第一の柱として、NISA 制度の抜本的拡充や恒久化により、国民が安定的に資産形成を行えるよう後押し
- 第四の柱の「雇用者に対する資産形成の強化」においては、ファイナンシャル・ウェルネスにより、従業員の意欲を高め、ひいては企業価値向上に寄与する



【第二部 Part1】

「ファイナンシャル・ウェルネス向上と企業の取り組み～イントロダクション」

(株)野村資本市場研究所 研究部長 野村 亜紀子 氏

＜主な内容＞

- 「モノの豊かさから心の豊かさへ」と人々の関心がシフト
- 内閣府の満足度（生活の質に関する）調査においても、「家計と資産の満足度」が構成要素に含まれている
- 企業が支援を提供することに一定の合理性はあり、生産性向上が期待できるが、取り組み方法は各社多様で正解がない
- 「正解」がない中で、各社模索が続くとみられるため、互いの具体的な取り組みや課題の共有が重要で有効

【第二部 Part2】

「ファイナンシャル・ウェルネス向上と企業の取り組み～パネルディスカッション」

＜取り組みの共有＞

- 規模の大きい企業、比較的小さい企業及び企業のサポート役という立ち位置の企業と、異なるタイプの企業それぞれの取り組みを共有

＜各社の取り組み①＞



コカ・コーラ ボトラーズジャパン（株）
CCBJIグループ企業年金基金 リーダー 筧 忠幸 氏

※2023年度 DCエクセレントカンパニー表彰「制度運営（ガバナンス）部門」受賞企業

第二部【Part2】
ファイナンシャル・ウェルネス向上と
企業の取り組み
～パネルディスカッション～

主催： JSDA 日本証券業協会 JBA 一般社団法人 全国銀行協会
後援：金融庁・（一社）日本経済団体連合会・株日本取引所グループ（東京証券取引所）

- 人的資本経営（People Strategy）としてのファイナンシャル・ウェルネスについては、DCを通じて福利厚生の一環として実施
- DC制度運営において、会社と制度と社員がバラバラと違う方向へひとり歩きしないよう統制を図るため、体制と業務手順を構築
- 「投資教育」の方法は、会社貸与のPCやスマートフォンで配信されるコンテンツを活用した「観てまなぶ型」と、セミナーや説明会へ自ら参加しリアルタイムでまなぶ「参加してまなぶ型」を提供

開催の模様④ <続き>

<各社の取り組み②>



キタイ設計（株）

経営企画本部 総務・経理グループ 係長 岡谷優樹 氏

※2022年度 DCエグゼレントカンパニー表彰「特別賞」受賞企業

- 企業理念「社員一人ひとりが、社会によって生かされていることに感謝し、社会に貢献していることの自覚と自立心を持って行動し、品位ある会社としての確かな方向性を定める」とし、社員の幸福を目指しながら取り組むことを創業当初より根底にある
- 投資教育について、公的機関が提供している冊子、情報を上手に活用し、一人一人の顔が記憶認識できる規模の企業のため、今節丁寧な対応を心掛ける

<各社の取り組み③>



（株）NSFエンゲージメント

ビジネス部門 保険ソリューション部 総括部長 廣前秀樹氏

※野村資産形成研究センター「第1回ファイナンシャル・ウェルネス研究会」参加企業

- 企業の福利厚生関連活動の一つとして、専門家による個別コンサルティングやセミナーの提供など、社員の暮らしや、ファイナンシャルプランニングのサポートを目的に活動
- 様々な取り組みの中、近年では資産形成系の要望が増えてきている状況

開催の模様④ <続き>

Q：どんな課題に直面されているのか？

キタイ設計：現在当社では社員向けに資産運用に関する情報を外部リソースを利用して配信しているが、どんな情報を配信してよいのか悩み。また、この業務に精通している人員も不足している

コカ・コーラ：投資教育の効果検証が困難。社内向けのオンラインセミナーは関心のある社員しか参加されない。関心を示さない無関心の社員に対しても知識の底上げをしたいと考えているが苦慮している

NSF：サービス提供をする立場としては、オリジナリティーのある情報を提供すること、中立であることや参加していない人をいかに参加してもらうようにするかということに注力している

Q：これまでの取組みでどんな変化がみられるか？

NSF：昨今の相談内容として資産形成が増加しているという他に世代別には相談内容として若い人は不動産投資にも興味をもっている人がいる一方、もう少し上の年齢層になると「今から始めて間に合うのか？」といった相談を受けることがある

キタイ設計：当社は社員数も少ないので社員の変化は肌で感じている。世代別で言うと、若い世代は昨今の物価上昇もあり、資産形成についての相談をよく受けている。中高年齢層になると老後の資産形成を熱心に相談を受けることがよくある

コカ・コーラ：全体の運用利回りをチェックしているが、社員の運用利回りが改善している点が挙げられる。社内でセミナーを実施後のアンケートは「もっと実施してほしい」という回答が多い



開催の様様④ <続き>

Q：最後に一言

NSF：ファイナンシャル・ウェルネスについては「正解がない」のが実情なので、今後も各社の取組みの情報共有していくことが肝要

キタイ設計：中小企業では社員の顔が見えるのが逆に強みだと思う。今後も社員の顔を意識して金融教育の質を上げていきたい

コカ・コーラ：社員は社業に勤しむのは当然で、「今の」お金が増えるということに意識しがちであるが、私たちの仕事は将来のお金（退職後のお金）に対しても会社として気にかけてもらっているということに社員自身が幸せを感じてもらえるように、自分たちも頑張っていきたい



開催の様様⑤



【第三部】「ライフプランに基づく資産形成と職場つみたてNISA」

日証協 金融・証券インストラクター 兼 全銀協 金融インストラクター 高木 典子

雇用者の資産形成支援に関する具体的施策として「職場つみたてNISA」を紹介

＜主な内容＞

- ・ ライフプランに基づく資産形成の重要性
- ・ 現役時代のライフイベントに備えるため、NISAの有効活用
- ・ 2024年からの新しいNISAの概要、「職場つみたてNISA」の仕組み及び奨励金について
- ・ 企業で雇用者の資産形成の土台作りのサポートを

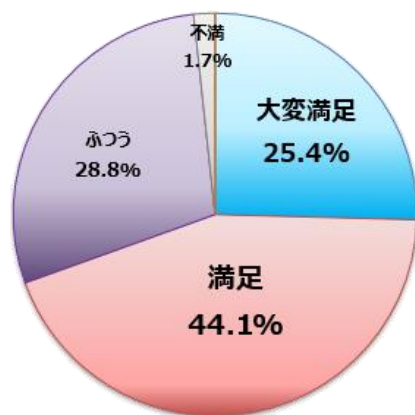
**＊ ＊ 開催の様様は、アーカイブ動画を配信予定 ＊ ＊
(2023年10月上旬 両協会サイト掲載予定)**



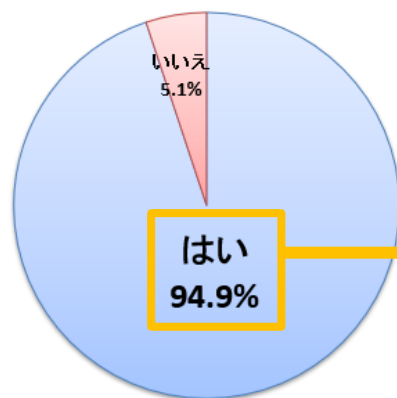
日証協サイトQRコード

参加者アンケート

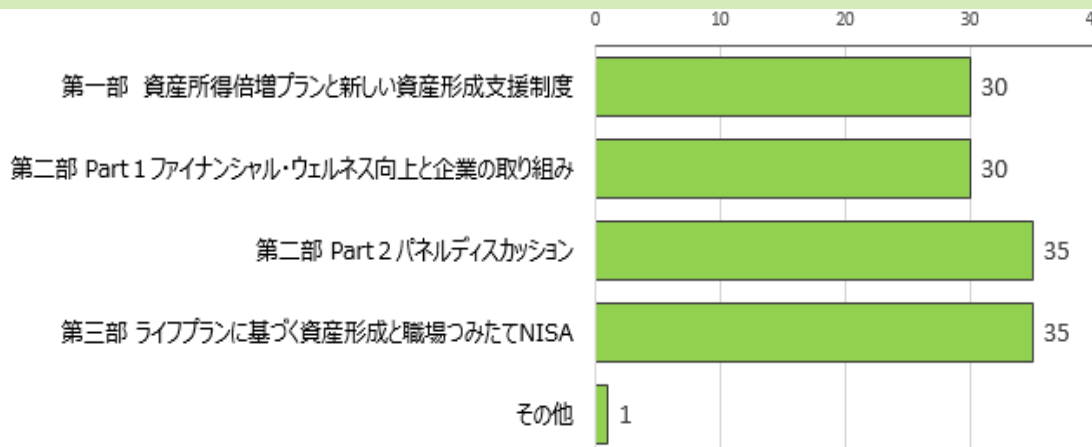
セミナーに対する満足度



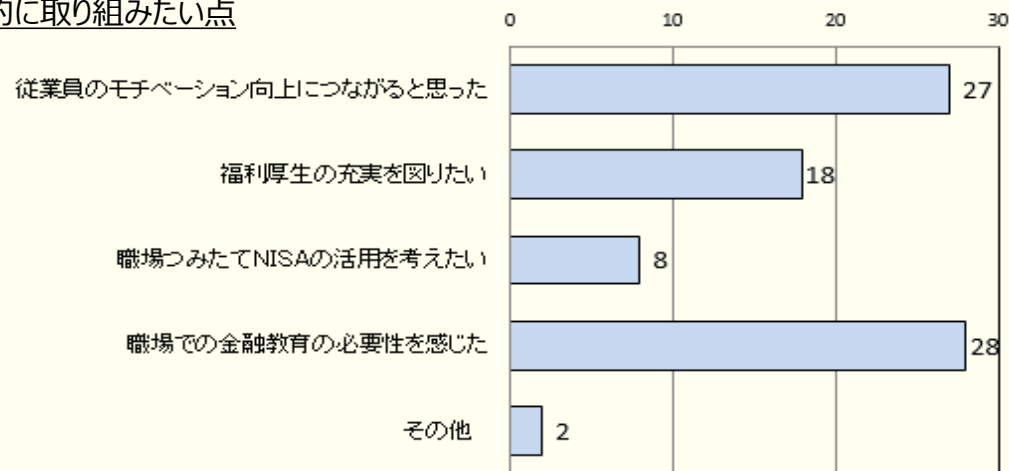
受講後、従業員向けの資産形成に向けた取り組みをはじめたいと思いましたが



参考になったプログラムはどれですか



具体的に取り組みたい点



n = 59

<参加者の声>「ファイナンシャル・ウェルネスについて勉強不足であったと感じた。他社様との違いを知り、感じる事ができ良かった。」
 「規模が異なる企業の身の丈に合った取組みや工夫、職場のNISAを知ることができてよかった。」「職場つみたてNISA等福利厚生の拡充の手段を知ることができました。」「非常に参考になる内容が多く、勉強になった。」「かなり概論的でしたので、もう少し具体的なお話が聞きたかった。」「もっとたくさんの事例を聞きたかったので、もう少し時間を取っても良いのではと思った。」